



庄原自治振興区だより

第 146 号 平成 30 年 12 月 20 日 発行

〒727-0013
庄原市西本町二丁目 17 番 15 号
TEL/FAX
(0824) 72-3777



第 12 回 活動報告・作品展 開催!!

— 庄原自治振興区主催 —

11 月 3・4 日(土・日)、庄原自治振興センター・庄原市民会館のフロアー・ロビーを利用して一年間の活動成果の発表と地域の交流を図りました。

今回も、日ごろの活動の成果としての作品展・自治会活動の写真展示等で 53 団体、ステージ発表 6 団体、お茶席・バザーで 4 団体が参加。本区からは昨年引き続き歴史文化継承事業による『歴史文化マップ』展示に併せて、新たに特設ステージで「カラオケのど自慢」、「卵のつかみどり」、市民会館入口の屋外では「地産地消トラック市場」を大好評の中、開催しました。

また、ホール玄関では本町・川手・東三区公衆衛生推進会共催による『がん検診に行くのだ』キャンペーンで来場者に粗品を提供するなど、大勢の皆様が来場され、二日間を大いに楽しんで頂きました。



平成 30 年度 全国統一防火標語

「忘れてない? サイフにスマホに 火の確認!」

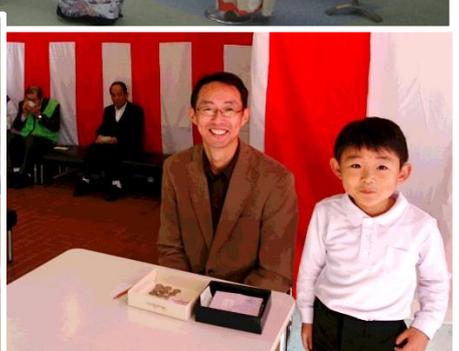


第8回 役員会報告 (11月27日) 協議事項等は次の通りです。

- (1) 第 13 回区民ウォーキングの集いの結果について
 - ・参加者ほか・・・272 名 (内当日参加 53 名) (H28 年 313 名)
 - ・コースについて・・・スタート位置、周回コース内容など更に明確にする
 - ・準備運動・・・庄原地区体協に依頼、ルネックウォーキング講習は継続する
- (2) 先進地研修について
 - ・宿泊研修・・・周防大島(周防大橋)の事故により本年度は中止とする
- (3) 防災本部と自主防災活動について(時間はいずれも、13 時 30 分~16 時 30 分)
 - ・研修会講師・・・広島県自主防災アドバイザー 柳迫長三氏 (広島市安佐北区在住)
 - ・日程・・・1 月 25 日(金) 防災活動の進め方、3 月 15 日(金) 避難所の運営について
- (4) 福祉団体合同研修会について
 - ・日時場所・・・12 月 6 日(木)13 時 30 分~、庄原市ふれあいセンター コパリホール
- (5) 自治会活動報告・・・西下 矢吹自治会長、次回は西中自治会



第12回 活動報告・作品展



第11回 のろし再現プロジェクト開催！ — 庄原自治振興区会場 —

天気予報が見事に的中し、11月23日(金)は朝から陽ざしが見え、風もなく絶好ののろし日和を迎えた。自治会長はのろし会場・飛脚出発式会場分かれて9時に集合、市役所前広場の飛脚出発式で、藤谷実行委員長の挨拶、自治定住課 森岡課長のご挨拶を頂いたあと、7会場に向かう伝令飛脚に指令書を手渡し、藤谷委員長の“ほら貝”の合図で、各会場に向けて一斉にスタートした。一方、ゆうしゃいん福業用地ののろし会場では、11時51分のろし打ち上げに向け、会場準備が着々と進み、11時の開会式では、増田区長のあいさつに続いて、永末小学校児童有志の太鼓“遠松風”の演奏、のろし現地解説では、由来について興味深く説明を聞いていると、会場前方の前要害山福山城址ののろしを目視確認、飛脚を待つ間には永末小学校有志児童や子供たちに、ゆうしゃいん様提供のふかし芋などが配られていた。

飛脚が到着し指令書伝達式を終えて、少し風が吹き始める中でのろし台にひのきの青葉を投入して発煙、無事に任務を完了しました。

その後、来場者全員に豚汁・ぜんざい・焼き餅の提供や、子ども宝くじなどで楽しいひと時を過ごしました。

最後に、庄原陸友会・ゆうしゃいん・永末小学校・夢ファーム永末・川手地区消防団、各位の皆様ご協力頂き有難うございました。





高自治振興区
前要害山福山城址



のろし会場



のろし解説



子ども宝くじ



デーモンかかあ
よろこぶ。



“ピンクリボン” キャンペーン

— 本町支部女性会 —

10月27日(土)にはジョイフルで、11月18日(日)には市民会館で、市保健医療課と連携し“ピンクリボン”キャンペーンを実施しました。

乳がんは、女性に一番多い“がん”で、40～50歳代をピークに発症や死亡が増加しており、日本人女性の約11人に1人が生涯で乳がんにかかる危険があります。

乳がんは子育てや介護、仕事など女性として一番忙しい時期にかかりやすい病気です。

早期の乳がんは触ってもわからないため、早期発見にはがん検診が有効です。2年に1回、乳がん検診を受けましょう。



広島県民よ!
まだ受けておらぬのがん検診

自覚症状がない時こそ検診を

— 川手地区公衆衛生推進会 —
— 東三区公衆衛生推進会 —
— 本町公衆衛生推進会 —

11月3日(土)庄原市民会館入口で、市保健医療と連携し“がん検診へ行くのだ”キャンペーンを実施しました。特に大腸がんはこの30年間で6倍近く増え、40歳代からかかりやすくなります。

早期の大腸がんでは、ほとんど自覚症状がありません。

大腸がんの一次検査(便潜血検査)は、自宅で便をとって提出するだけの、簡単な検査です。40歳になったら、年1回大腸がん検査を受けましょう。また、検査が陽性であれば必ず精密検査を受けましょう。早期に発見し治療が行われれば90%以上が完治します。



平成 30 年度 市議会報告会

10月1日(月)19時00分より、庄原市民会館集會室に於いて、庄原会場市議会報告会が開催され、市議会から坂本・宇江田・林・桂藤の4名(敬称略)の議員が出席、本区から増田区長・副区長・自治会長・一般の総勢、約30名が参加した。

報告会は坂本議員の司会進行により、議会総務・建設・教育の3常任委員会の主な活動内容を、各議員によって判り易く説明後、続いて全員による意見交換が行われ、★避難所開設時の問題、★庄原ダムの緊急放流の問題、★市民会館及び自治振興センター修繕・改築、★小中学校統廃合問題などについて意見交換が行われ、20時30分過ぎに閉会した。

— 庄原自治振興区会場 —



— 庄原カメラ教室 —

庄原自治振興区 専門部会の紹介 ⑦

あなたも是非と一緒に楽しい写真を！

私たちのカメラ教室は、月に1回、講師をお願いしている門脇俊照、金山一宏両先生から、「撮影技術の講習」や会員が思い思いに撮影した写真の「講評・アドバイス」をいただいています。

また年間行事として、撮影研修旅行(今年は宮島)をはじめ、春の「市役所1階ロビーの写真展」や秋の「自治振興区活動報告・作品展」に出展、市民の皆さんに観ていただいています。

「楽しいファミリー写真、美しい風景写真や、カメラの操作を学びレベルアップしたい」。こんな思いをお持ちの皆さん、是非と一緒に楽しく学びませんか。

活動日:毎月第4水曜日午後7時00分～

活動場所及び問い合わせ先:庄原自治振興センター



— 庄原コール・ソレイユ —

庄原自治振興区 専門部会の紹介 ⑧

私たちは、未来に残したい曲を歌い継いで行きたいと願い、歌って25年になります。

当初からの会員は80代ですが、今でも元気いっぱいに歌っています。大きな声を出すということはとても健康のためによく、そして何よりも皆が一つになってハーモニーを作る、難しいことですがとても楽しいことです。

時折オンステージして、拍手をいただければ、また次はもっと上手になろうとファイトが出ます。皆様も一緒に歌ってみませんか。いつでも大歓迎です。

活動日:毎週月曜日午後7時～9時まで

活動場所及び問い合わせ先

:庄原自治振興センター



炊き出し訓練そして交流会

— 紅屋自治会 —

10月14日(日)、市役所ホール内外で実施しました。差し入れの栗ご飯をチームワーク良くむすびに、ご飯を炊いてカレーライス、うどんを作り、オードブルを囲んで“それ行けカープ”の大合唱、ビンゴゲームで盛り上がり、ワイワイガヤガヤ会話も弾み、楽しい交流の時間を過ごすことが出来ました。



「新道 秋まつり」

— 新道上青年会 —

10月13日(土)、第1回新道秋まつりを開催致しました。

今回初めての企画で経験者もいましたが、ほとんどが未経験者で、何とか準備を完了しオープンする事ができました。14時のオープンと同時に多数のお客様が、来場され閉店の20時までの間、約百数十名のお客様と楽しい時間を過ごしました。オープンから閉店ちかくまで、楽しんでいたお客様もいました。新道上青年会メンバーは、第2回目も開催する気持ちです。次回はもっと良い企画で、お客様に楽しんで頂きます。



1月の自治振興区主催行事予定

- 8日(火) 理事総務企画合同会議 13:30~
- 12日(土) 子ども将棋教室 9:30~
- 15日(火) 環境美化防犯パトロール 9:00~
(東下・大歳上・大歳下・宮の下の自治会長)
- 22日(火) 役員会 13:30~
- 25日(金) 自主防災研修会 13:30~
- 26日(土) 子ども将棋教室 9:30~
- 毎週1回青少協防犯パトロール 16:30~

1月29日(火)~2月5日(火) 市役所ロビーにて各自治会の活動報告パネル展示を開催。

編集後記

今年の夏は「平成30年7月豪雨」、東・西日本で記録的な高温、埼玉県熊谷では41.1℃と歴代最高を記録。9月にかけては台風・地震などの甚大な被害があり、さらに10月に入っても東京・大阪では32℃を越す真夏日が続きました。地球規模での地殻変動や地球温暖化・異常気象が今後どのように変化していくか気がかりです。

2019年を迎えるにあたり、「平成」最後の大晦日を迎えることとなります。みなさまには、それぞれに思いを寄せられていると推察いたします。年が明けた来年5月からは、どのような元号になるのでしょうか。「M・T・S・H」の頭文字がつかない名称になるそうですが関心を持ちます。話題にして新年を迎えるのも家族団らんのひと時を憩えるのではないのでしょうか。

T記